

第15回

The 15th Annual Meeting of the Japanese Society for Low-vision Research and Rehabilitation

日本ロービジョン学会学術総会

広げよう! ロービジョン
目の叢

プログラム・抄録集

会期

2014年

11月1日(土)・2日(日)

第15回日本ロービジョン学会学術総会

11月3日(月・祝)

第3回日本ロービジョン学会研修会
市民公開講座

会場

大宮ソニックシティ

会長

江口 万祐子

獨協医科大学越谷病院眼科

名誉会長

筑田 眞

獨協医科大学越谷病院眼科 主任教授



第15回 日本ロービジョン学会 学術総会

The 15th Annual Meeting of the Japanese Society for Low-vision Research and Rehabilitation

プログラム・抄録集

広げよう! ロービジョンケアの輪

会期

2014年 **11月1日(土)・2日(日)**

第15回日本ロービジョン学会学術総会

11月3日(月・祝)

第3回日本ロービジョン学会研修会

市民公開講座

会場

大宮ソニックシティ

会長

江口 万祐子

獨協医科大学越谷病院眼科

名誉
会長

筑田 眞

獨協医科大学越谷病院眼科 主任教授

<http://jslrr15.umin.jp/>

INDEX

開催のご挨拶	1
開催概要	2
抄録査読委員	3
第16回日本ロービジョン学会学術総会のご案内	3
会場アクセス図	4
会場案内図	6
参加者へのご案内	9
発表者・オーガナイザー・座長へのご案内	12
日程表	17
プログラム	20
抄 録	
特別講演	33
教育講演	35
シンポジウム1	37
シンポジウム2	43
パネルディスカッション	49
第1回日本ロービジョン学会 学術奨励賞受賞記念講演	53
ランチョンセミナー	57
一般口演	59
学術展示(ポスター)	73
特別企画	125
第3回日本ロービジョン学会研修会	135
市民公開講座	139
投稿規程	
学会発表の論文投稿について	144
眼科臨床紀要投稿規程	146
日本ロービジョン学会誌投稿規程	149
索引	153
寄付・協賛企業一覧	157

第15回日本ロービジョン学会学術総会 開催のご挨拶



会 長 江口 万祐子

獨協医科大学越谷病院 眼科

第15回日本ロービジョン学会学術総会を2014年11月1日(土)・2日(日)の両日にわたり、埼玉県にて開催させていただくことになりました。

私自身がロービジョンケアに携わるようになってから13年が経過いたしました。ケアを受けた患者からは多くの満足の声が聞かれる半面、「もっと早くケアを受けたかった」「どうして今まで知らせてもらえなかったのか」という切実な訴えも沢山聞いてまいりました。ロービジョンケアに対する眼科医の関心の差、または地域格差などの問題によりケアを受けられていない患者がまだまだ多勢いるであろうこの現状を少しでも改善したい！という思いから、今回の学術総会では「広げよう！ロービジョンケアの輪」をテーマとして掲げました。

学会会員はもちろんのこと非会員の方々、一人でも多くの方にご参加いただき、今回の学術総会を通じて見解や連携を深め、各々の現場に戻ったのちにロービジョンケアの輪がさらに広がるような会にしたいと準備を進めてまいりました。

プログラムは、特別講演・教育講演・二つのシンポジウム・パネルディスカッション・特別企画として、医療・教育・福祉、それぞれの分野で活動されている方々から問題提供をしていただき、活発なディスカッションが繰り広げられるような内容で構成いたしました。また、おかげさまで学術発表として63題と多数の演題が集まりました。構成上、一般口演を希望されておりました方のうち、半数以上の方にポスター発表への切り替えをお願いしなければならなかった事をこの場をお借りしてお詫びさせていただくと同時に、ご協力いただきました事に対し、厚く御礼申し上げます。

事前登録の段階で参加者582名(会員205名・非会員306名・学生71名)と多数の申し込みをいただきました。今回の学術総会を機に会員になった方も沢山いらっしゃることで、既に、盛会になること間違いなし！の予感がいたします。

獨協医科大学越谷病院眼科スタッフ一同が「おもてなし」の気持ちで皆様をお迎えいたします。大勢の方の御来場をお待ちしております。

11月、埼玉から、ロービジョンケアの輪が広がりますように！

開催概要

名 称：第15回日本ロービジョン学会学術総会

テ ー マ：『広げよう！ロービジョンケアの輪』

主 催：獨協医科大学越谷病院眼科 第15回日本ロービジョン学会学術総会実行委員会

会 長：江口 万祐子（獨協医科大学越谷病院眼科）

会 期：2014年11月1日（土）・2日（日）
（3日：第3回日本ロービジョン学会研修会、市民公開講座）

会 場：大宮ソニックシティ
〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5
TEL：048-647-4111（代）

事 務 局：獨協医科大学越谷病院眼科医局
〒343-8555 埼玉県越谷市南越谷2-1-50
TEL/FAX：048-965-8659
E-mail：15th-jslrr@dokkyomed.ac.jp
ホームページ：http://jslrr15.umin.jp/

後 援：埼玉県眼科医会、一般社団法人埼玉県医師会、
公益社団法人日本視能訓練士協会、視覚障害リハビリテーション協会、
さいたま市、公益社団法人東京都眼科医会、足立区眼科医会

協 賛：公益社団法人埼玉県産業文化センター
公益社団法人さいたま観光国際協会

共 催：（ランチョンセミナー）株式会社朝倉メガネ、株式会社シード、
東海光学株式会社、ベストメディカルサービス株式会社

第15回日本ロービジョン学会学術総会 抄録査読委員

池谷 尚剛(岐阜大学 教育学部)

石井 雅子(新潟医療福祉大学医療技術学部)

井上 賢治(医療法人社団済安堂 井上眼科病院)

◎江口万祐子(獨協医科大学越谷病院 眼科)

加茂 純子(甲府共立病院 眼科)

田邊 正明(日本ライトハウス視覚障害リハビリテーションセンター)

中野 泰志(慶應義塾大学 心理学教室)

柳澤 美衣子(東京大学医学部附属病院)

50音順／◎は委員長

第16回日本ロービジョン学会学術総会のご案内

会 期：2015年11月21日(土)～23日(月・祝)

会 場：一橋講堂

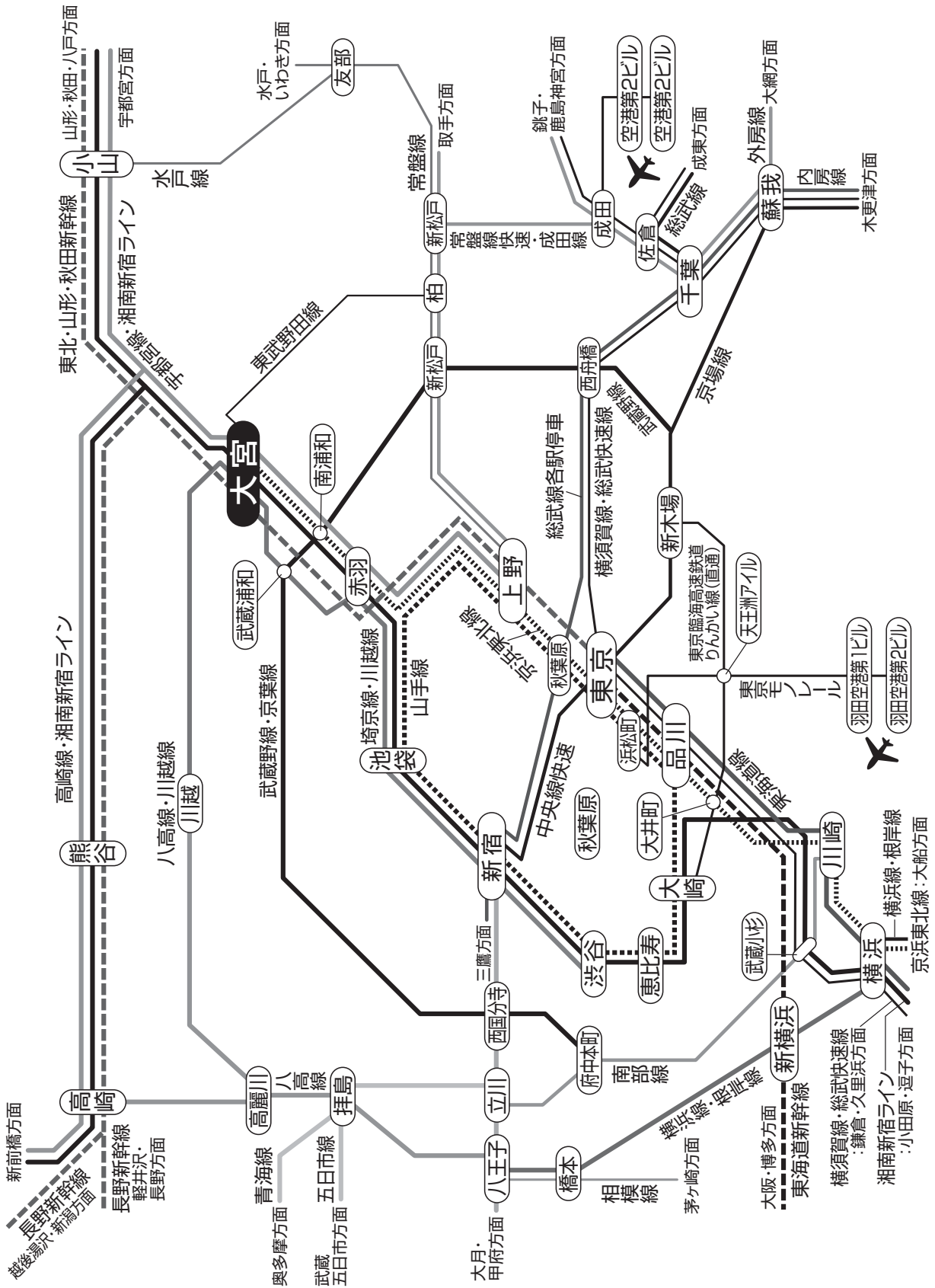
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-1-2

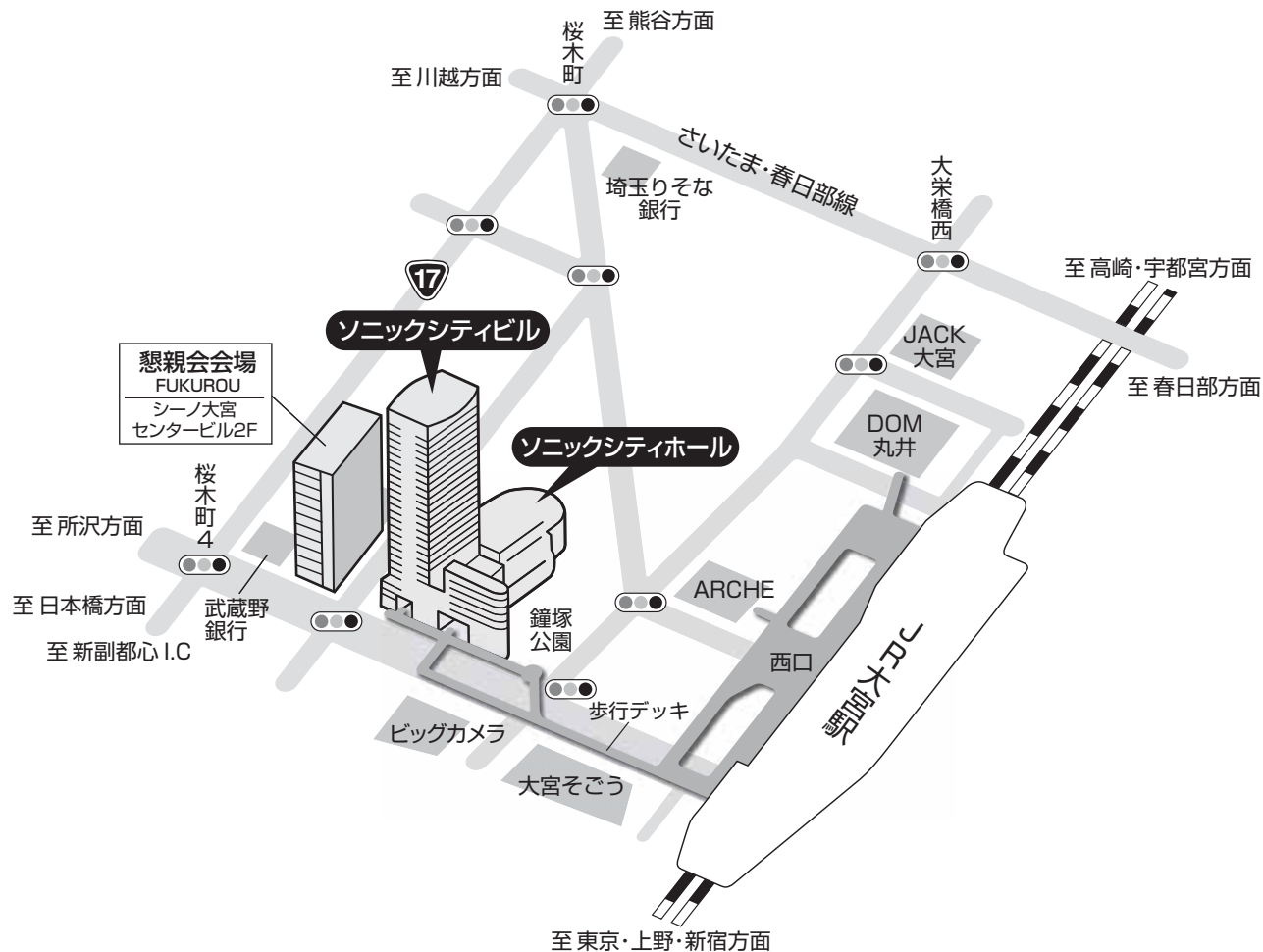
TEL：03-4212-3900

会 長：加藤 聡(東京大学眼科学教室)

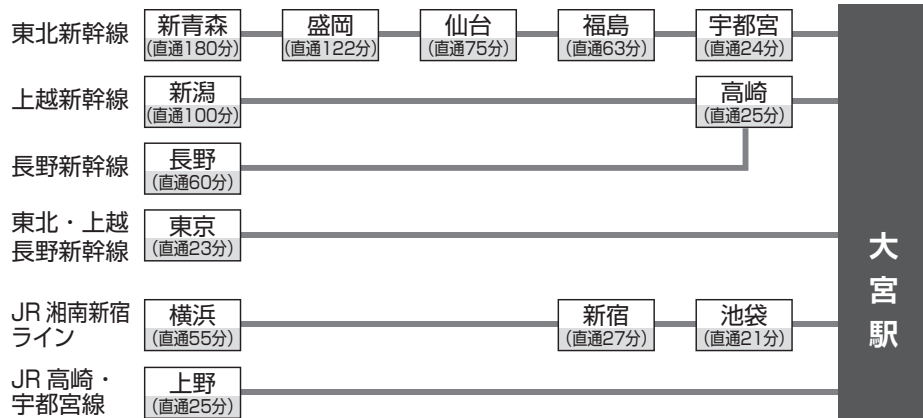
テ ー マ：『ロービジョンケアにおける Science』

会場アクセス図

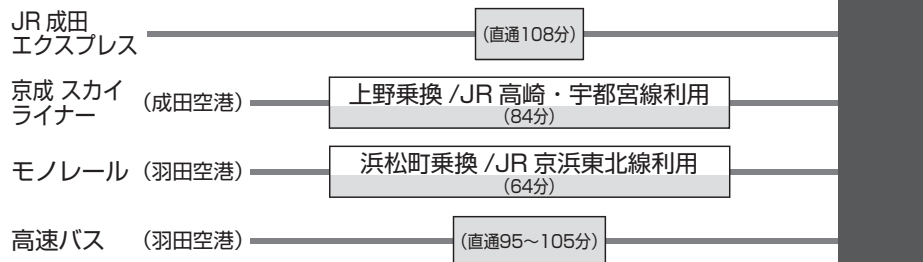




◆新幹線・在来線



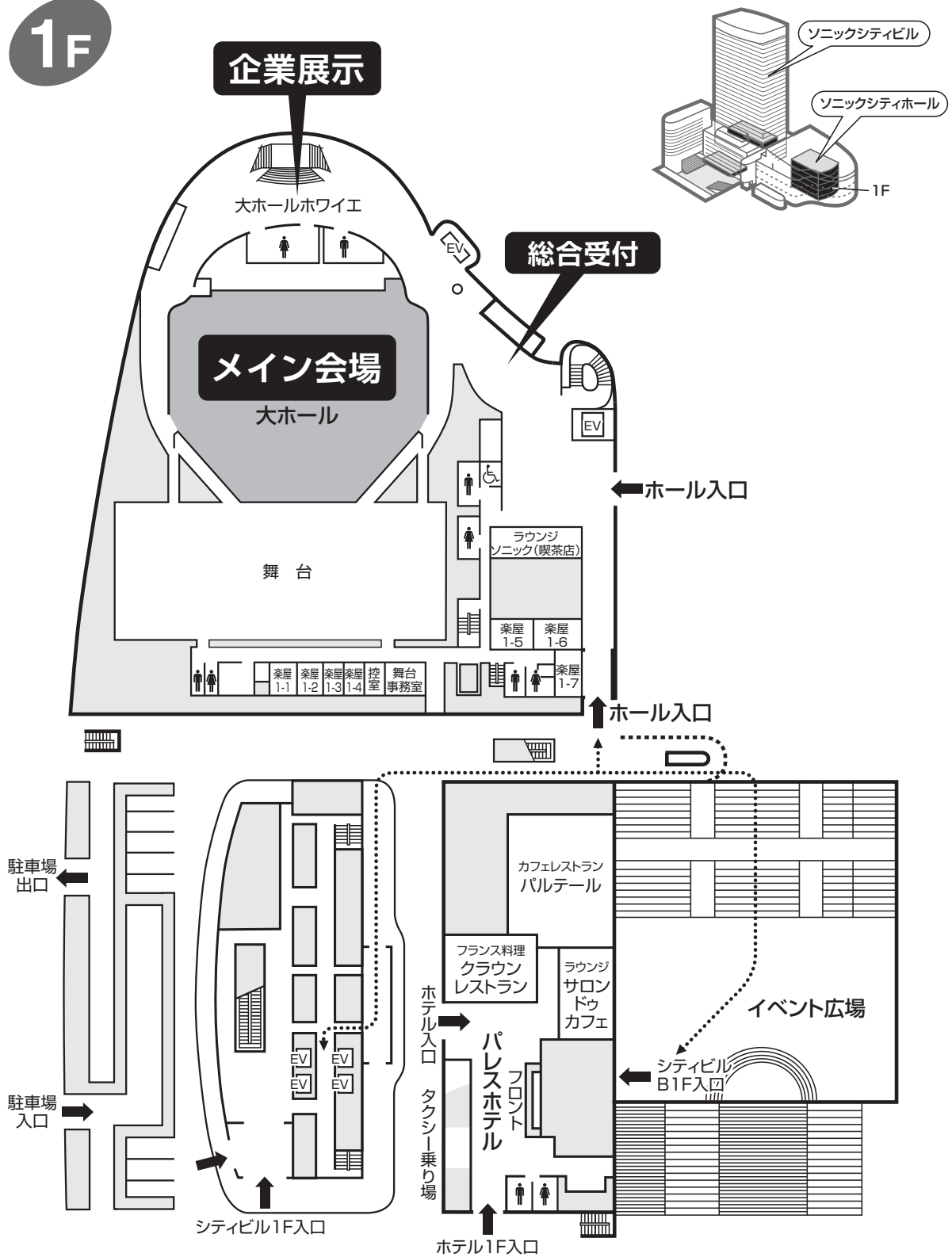
◆空港から



会場案内図

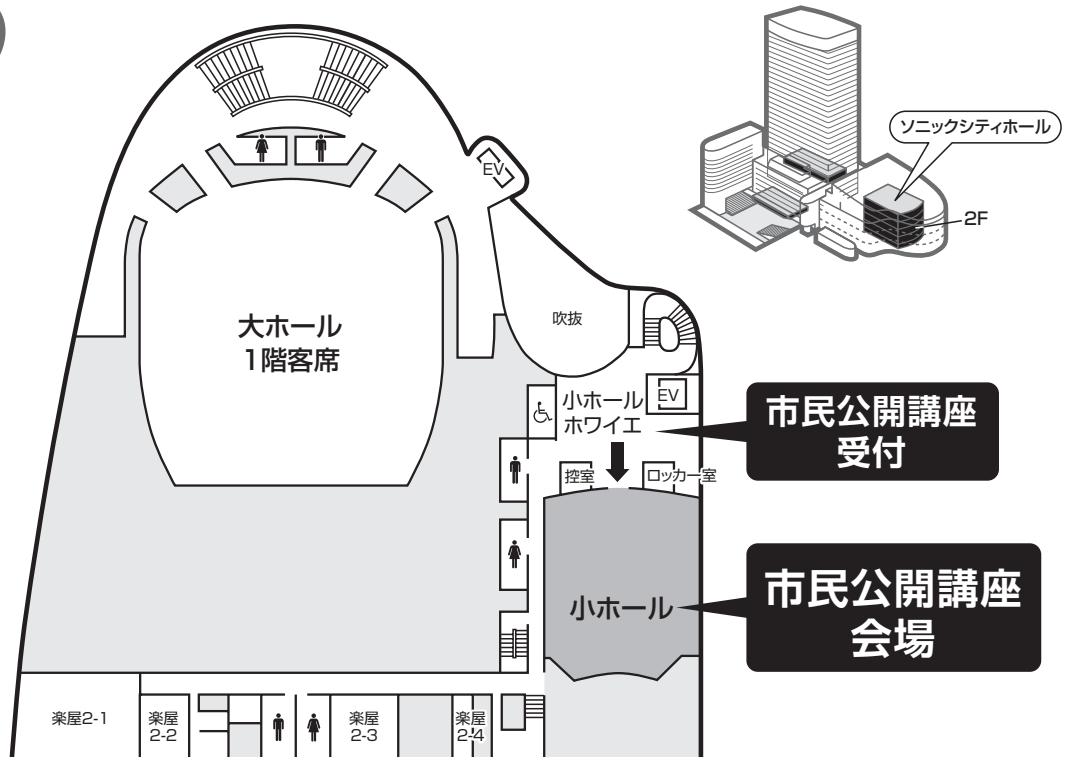
ソニックシティホール

1F

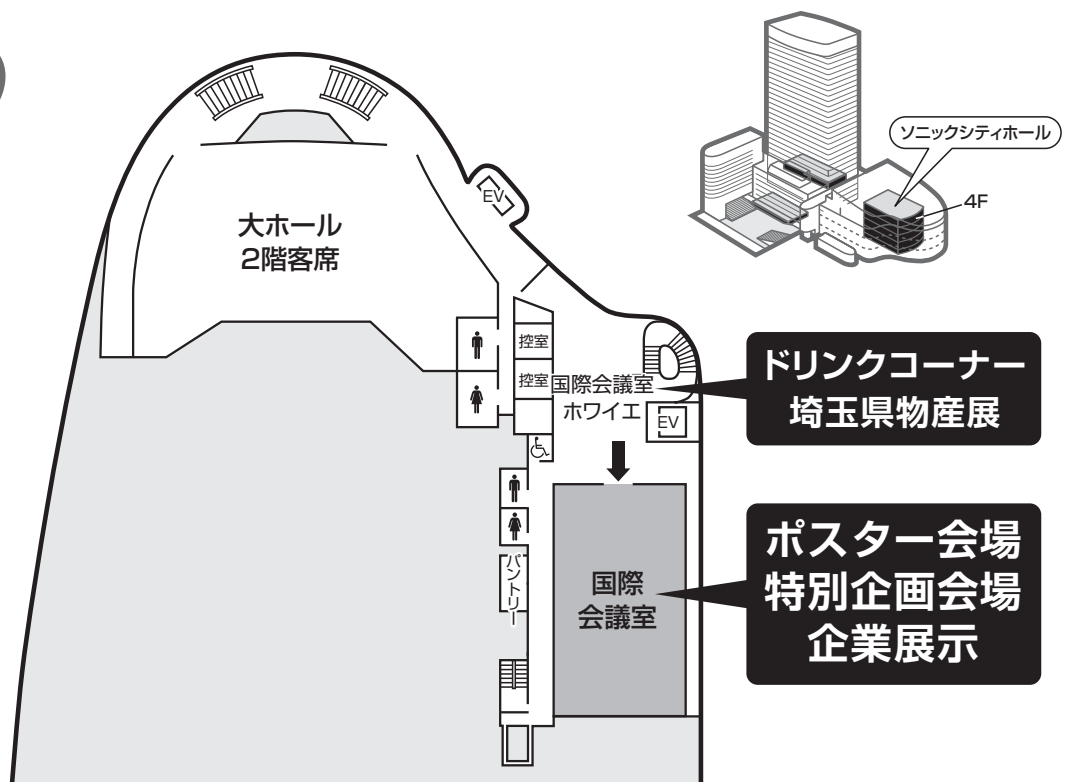


ソニックシティホール

2F

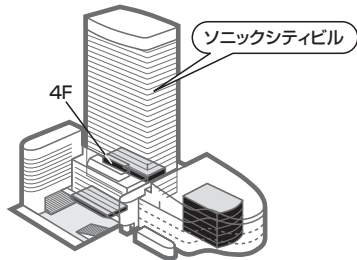


4F



ソニックシティビル

4F



研修2会場

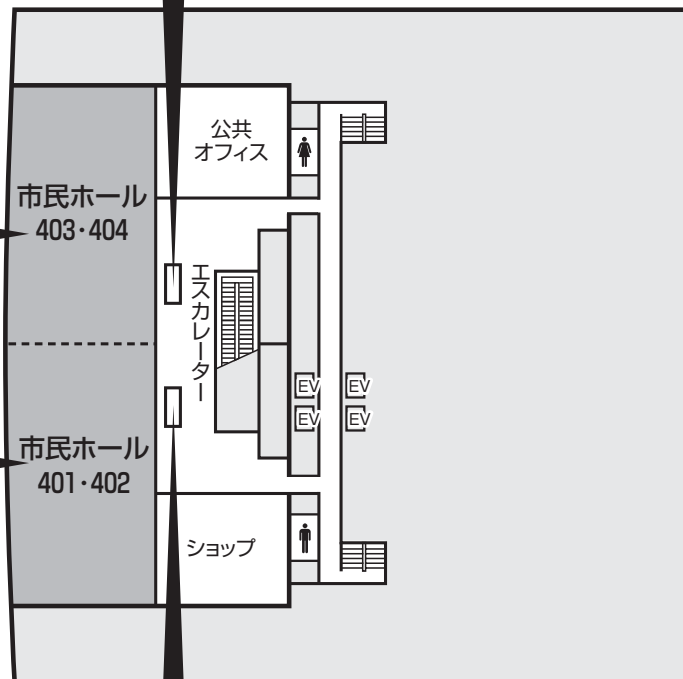
市民ホール
403・404

研修1会場

市民ホール
401・402

研修2受付

研修1受付



◆スライド作成における注意事項

スライドは参加者が容易に理解できるよう眼科学の知識に基づいて作成してください。

1) スライド2枚目に利益相反事項を用意してください。

2) 字詰まりスライドを避ける：

字詰まりスライドは、低視力者はもちろん、正常視力者にとっても判読が大変困難です。
(Angular Vision と Cortical Vision との関係への配慮)。

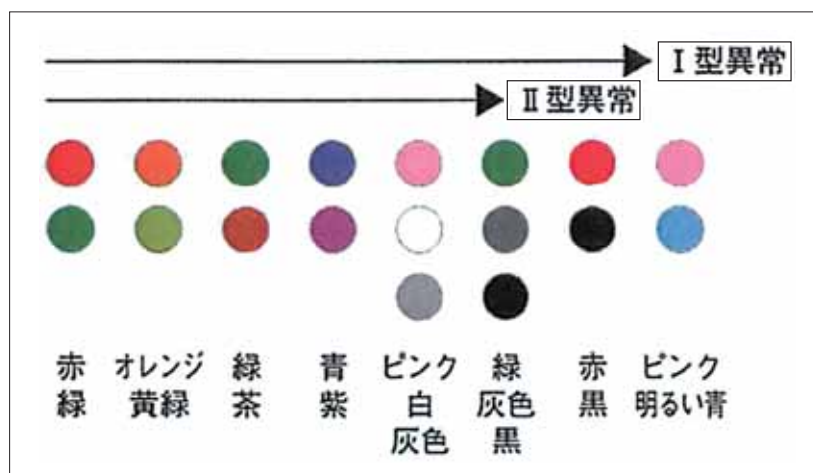
3) スライド提示時間への配慮：

スライドに掲載されている内容を把握するのに十分な提示時間を確保できるスライド枚数としてください。

4) 使用する色の数ならびに混合色への配慮：

1. 一枚のスライドに多数の色を使用することは避けてください。背景色と文字とのコントラストが十分にあるもの(ブルーまたは黒の背景に白色または黄色文字など)にしてください。

2. 以下の配色は混同色として識別が難しいので同一スライド内で使用しないようにしてください。



日 程 表

1日目 2014年 **11月1日(土)**

	メ イ ン 会 場 大 ホール	ポスター会場 国際会議室	特別企画会場 国際会議室
11:00			
	11:30～ 受付開始	11:30～12:30 ポスター貼付	
12:00	12:15～12:25 開 会 式 12:25～13:30 ショートトーク(学術展示・奇数) 座長：石井 雅子		
13:00			
14:00	13:40～14:50 シンポジウム 1 医療：次世代を育てる 演者：川瀬 芳克、大城戸 真喜子 新井 千賀子、安藤 伸朗 オーガナイザー：仲 泊 聡	12:30～16:20 ポスター閲覧	
15:00	14:50～15:30 一般口演 I 座長：守本 典子		
16:00		16:20～17:10 学術展示・奇数 討論	15:40～16:00 アロマ ショートセミナー 16:00～16:50 視能訓練士 ミニセミナー
17:00	17:20～18:20 パネルディスカッション 医療と教育の連携を問う －コミュニケーションギャップの克服に向けて－ 演者：松久 充子、吉田 道広、杉谷 邦子 座長：中野 泰志		16:50～17:20 モンキーマジック 活動紹介
18:00			
	18:30～19:00 懇親会受付開始 会場：大宮ダイニング FUKUROU		
19:00	19:00～20:30 懇 親 会 会場：大宮ダイニング FUKUROU		
20:00			

2日目 2014年 11月2日(日)

メイン会場 大ホール		ポスター会場 国際会議室	特別企画会場 国際会議室
8:30	8:30～ 受付開始		
9:00	8:45～9:50 ショートトーク(学術展示・偶数) 座長：小野 峰子		
10:00	9:50～10:30 一般口演Ⅱ 座長：八子 恵子		
11:00	10:30～11:10 一般口演Ⅲ 座長：張替 涼子		
12:00	11:20～12:20 教育講演 眼科における在宅医療・介護について ～今 私達は何をすべきか～ 講師：日比野 久美子 座長：田淵 昭雄	9:00～15:40 ポスター閲覧	
13:00	12:30～13:30 ランチョンセミナー 遮光眼鏡と羞明のメカニズム 講師：堀口 浩史 座長：鈴木 利根		
14:00	13:50～14:00 総 会 14:00～14:30 第1回日本ロービジョン学会学術奨励賞受賞記念講演 受賞者：江口 万祐子、氏間 和仁		
15:00	14:30～15:30 特別講演 これからのロービジョンケア ～20年の軌跡から～ 講師：高 橋 広 座長：加 藤 聡		
16:00		15:40～16:30 学術展示・偶数 討論	15:40～16:20 ひかりの森 活動紹介
17:00	16:40～17:50 シンポジウム 2 地域で働く視覚リハ専門家の現状から見えてくること －医療と福祉も連携は相互理解から－ 演者：吉野 由美子、別府 あかね 良久 万里子、小林 彩子 オーガナイザー：吉野 由美子	16:30～17:40 ポスター撤去	
18:00	17:50～18:00 次期会長挨拶・閉会式		

3日目 2014年 **11月3日** (月・祝)

	研 修 1 会 場 市 民 ホ ー ル	研 修 2 会 場 市 民 ホ ー ル	市 民 公 開 講 座 会 場 小 ホ ー ル
8:30	8:30～ 受 付 開 始		
9:00	9:00～10:30 研修 1 スマートフォン・タブレットの 利点と問題点 － 全盲者とロービジョン者の違い－ 講師：渡辺 哲也		
10:00			
11:00		11:00～ 受 付 開 始	
		11:30～13:00 研修 2 非光学的補助具、特に拡大読書器(CCTV)の活用と指導 講師：山田 信也	
12:00			
13:00			13:00～14:00 受 付 開 始
14:00			14:00～16:00 市 民 公 開 講 座 医療連携： 全身疾患からロービジョン ケアを考える 講師：井 原 裕 作田 亮一 犬飼 敏彦 座長：筑 田 眞
15:00			
16:00			
17:00			
18:00			

第15回日本ロービジョン学会学術総会 プログラム

1日目 11月1日(土) メイン会場(大ホール)

開会式 12:15～12:25

ショートトーク(学術展示・奇数) 12:25～13:30

※プログラムは27Pより

座長：石井 雅子(新潟医療福祉大学)

シンポジウム1 13:40～14:50

オーガナイザー：仲泊 聡(国立障害者リハビリテーションセンター病院 第二診療部長)

[医療：次世代を育てる]

S1-1 視能訓練士学生での試み

川瀬 芳克

愛知淑徳大学健康医療科学部 医療貢献学科 視覚科学専攻

S1-2 医学部1年生へのロービジョン教育

大城戸 真喜子

東京慈恵会医科大学

S1-3 ポリクリでの試み

新井 千賀子

杏林大学付属病院 アイセンター

S1-4 医学性(医の倫理)での試み

安藤 伸朗

済生会新潟第二病院 第4診療部長

一般口演I 14:50～15:30

[就労・その他]

座長：守本 典子(岡山大学 眼科)

O1-1 連携による職場復帰支援と採用後の合理的配慮

○工藤 正一¹⁾、吉田 雅子²⁾、山田 信也³⁾、湯川 仁康¹⁾、下堂蘭 保¹⁾、松坂 治男¹⁾、
工藤 良子⁴⁾

1) NPO 法人 タートル、2) 吉田眼科医院、

3) 国立障害者リハビリテーションセンター 自立支援局 神戸視力障害センター、4) 山王看護専門学校

- P42** 重度視覚障がい糖尿病在宅療養者の血糖測定・インスリン注射の自立に向けた取り組み
○石田 和雄¹⁾、関 志保²⁾、廣田 仁美²⁾、宇佐美 絵里子²⁾、成田 八重子²⁾、高野 専²⁾、中川 渚³⁾
1) 日本医療科学大学保健医療学部、2) 鶴巻ホームヘルプセンター、3) 鶴巻訪問看護ステーション
- P43** 視覚障害者支援の輪の拡大を目指して
—第43回高知リハ研究会での試みを中心に—
○吉野 由美子¹⁾、別府 あかね²⁾、金平 景介²⁾
1) 視覚障害リハビリテーション協会、2) (財)高知県身体障害者連合会
- P44** 視覚障害の身体障害者手帳の該当がない症例の Functional Vision Score での評価
○鶴岡 三恵子¹⁾、加茂 純子²⁾、井上 賢治¹⁾
1) 井上眼科病院、2) 甲府共立病院 眼科
- P45** 3D プリンタを用いた拡大頭蓋骨模型作製のとりくみ
～見やすい色に着目して～
○中村 直子¹⁾、荒木 勉²⁾、丹野 格²⁾、本間 巖²⁾、加藤 一夫¹⁾、坂本 裕和¹⁾
1) 筑波技術大学 保健科学部、2) 筑波技術大学 産業技術技術学部
- P46** ロービジョン者の情報収集力について；特定健診の通知状況より得られた考察
○柴 智子、井出 醇、鬼怒川 次郎、眞野 俊治
医療法人社団慈心会 井出眼科病院
- P47** ロービジョン患者の退院支援システムの構築
—外来に繋げるサポート体制を強化する—
○中村 友美¹⁾、山浦 由美子¹⁾、蓮見 美代子¹⁾、多田 則子¹⁾、江口 万祐子²⁾、筑田 眞²⁾
1) 獨協医科大学越谷病院 看護部、2) 獨協医科大学越谷病院 眼科
- P48** 図の領域が見分けやすいハッチ（網掛け模様）作成の試み
○守本 典子¹⁾、下田 雅彦²⁾
1) 岡山大学 眼科、2) (株)両備システムソリューションズ
- P49** 視野狭窄における人らしい動きの知覚
—スリットを通して観察した BiologicalMotion から—
○麻野井 千尋¹⁾、長田 佳久²⁾、小田 浩一³⁾
1) 東京ライトハウス、2) 立教大学、3) 東京女子大学
- P50** 視野狭窄シミュレーションによる読みと書字のパフォーマンスの変化
○石井 雅子、谷 佳子
新潟医療福祉大学医療技術学部
- P51** 全国視覚特別支援学校における MNREAD の利用状況に関する研究
○韓 星民¹⁾、山口 千晴¹⁾、中野 泰志²⁾、氏間 和仁³⁾
1) 福岡教育大学、2) 慶應義塾大学、3) 広島大学

特別講演

これからのロービジョンケア ～20年の軌跡から～



座長：加藤 聡
東京大学医学部 眼科

略 歴

- | | | | |
|-------|--|-------|---------------------|
| 1987年 | 新潟大学医学部医学科卒業
東京大学医学部附属病院眼科入局 | 2001年 | 東京大学医学部眼科講師 |
| 1990年 | 東京通信病院眼科 | 2007年 | 東京大学医学部眼科准教授 |
| 1996年 | 東京女子医科大学糖尿病センター
眼科講師 | 2013年 | 日本ロービジョン学会理事長 |
| 1999年 | 東京大学医学部附属病院分院眼科
講師 | 2014年 | 東大病院眼科科長兼任
現在に至る |
| 2000年 | King's College London,
St. Thomas' Hospital 研究員 | | |

これからのロービジョンケア ～20年の軌跡から～



たかはし ひろし

高橋 広

北九州市立総合療育センター 眼科

略 歴

- 1975年
慶應義塾大学医学部卒業
医学博士
- 1989年
産業医科大学眼科学講座講師
- 1993年
同大学助教授
- 2000年
柳川リハビリテーション病院
眼科部長
日本ロービジョン学会理事
(現在に至る)
- 2008年
北九州市立総合療育センター
眼科部長(現在に至る)
- 2010年～2013年
日本ロービジョン学会理事長
- 2012年
獨協医科大学越谷病院特任教授
- 現在:
福岡教育大学特別支援教育講座
非常勤講師
慶應義塾大学医学部非常勤講師
日本眼科医会身体障害認定基準に
関する委員会委員
日本産業・労働・交通眼科学会
理事

参考図書

- 「ロービジョンケアの実際」第2版
医学書院, 2006
- 「知っておきたい子どもの目のケア」
少年写真新聞社, 2007

私のロービジョンケア(LVC)にかける思いを端的に表現すると、保有視機能を最大限に活用してQOLの向上を目指すものが私のLVCである。

私の20年の軌跡の第一歩は、1994年ある一人の成人緑内障患者との出会いからである。日々治療に明け暮れていた私は、患者が希望する社会復帰を支援することができず煩悶していた。その時、知人の紹介で一人の歩行訓練士がこの患者に接したことで、患者は精神的にも立ち直り、社会復帰を果たしていった。その状況をつぶさに見た私は、LVCの真髄を垣間見る思いであった。

これを機に、1996年産業医大病院眼科にロービジョンクリニックを開設した。当時、公に学ぶ場は厚生省主催視覚障害者用補装具適合判定医師研修会しかなく、LVCに関する教科書もなく、須く私の師匠は患者であり、視覚障害者の方々であった。また、視覚障害者の方々が持つ問題が医療だけでは全て解決できないのは自明のことであり、多くの他職種の人たちとの学際的連携が重要であると考えた。この学際的連携を実現するために1994年北九州視覚障害研究会、1997年九州ロービジョンフォーラムを発足させ、2000年に田淵昭雄先生らと共に日本ロービジョン学会を設立した。

私が歩んできたLVCの20年は、広く眼科の世界にあっては失明告知後に福祉へ繋ぐだけの時代から、保有視機能の活用、目の使い方、適切な視覚補助具や視環境に対するアドバイスを積極的に示す時代へと、大きな転換の時期を迎えている。特に近年、寄り添うLVCから一歩踏み出し、患者の抵抗を知りつつも患者の背中を押すことの必要を感じ実践している。これは患者の意に沿わぬことを押し付けているように傍からは見え、医療スタッフに誤解を生じることも時にはあるが私はこれをロービジョンリハビリテーション(LVR)と呼び、これこそが眼科医療の役割と認識している。

私が日本ロービジョン学会理事長在任中の2012年、会員各位のご協力の下、長年の懸案であったロービジョンの診療報酬化をロービジョン検査判断料の名称で実現を見た。これは正に繋ぎ目のない連携の中で医療のなすべきことを示したもので、LVRの意味を明確にしたものと考ええる。したがって、今後のLVCはLVRを担う眼科医療が中心となり、如何に患者主導の医療に展開して行けるかによる。

⑦ インターネット上のリソースを引用する場合

文献として引用するのではなく、本文の該当部分の記述の後にウェブサイトのアドレス（URL）をカッコ書きで記載して下さい。

⑧ 図・表の説明：

図表とは別の用紙を用い、それだけを読んでも図表の内容がわかるように簡潔に記載して下さい。また図中に用いたシンボル、矢印、略語などは必ず説明して下さい。

⑨ 図、表：

図（グラフ、写真を含む）は A4 判サイズ of 用紙に印刷し、裏面に筆頭著者名、図の番号、天地を示す矢印を記載して下さい。なおカラー印刷を希望する場合は、タイトルページ記入欄に明記して下さい。カラー印刷は製版・印刷の実費を申し受けます。表も A4 判サイズの用紙に印刷し、下部に表の番号を記載して下さい。

⑩ 著者校正：

原則として 1 回行います。査読を終了した後での大幅な訂正は認められません。

⑪ 著作権：

掲載論文の著作権は日本ロービジョン学会に帰属します。投稿に際しては著作権譲渡同意書に著者全員の自筆サインをして原稿に添付して下さい。著作権譲渡同意書は日本ロービジョン学会誌にも綴じ込んでありますが、日本ロービジョン学会ホームページからもダウンロードできます。

⑫ 論文掲載料：

- 1) 筆頭著者が本会会員の場合、論文掲載料は「原著」「報告」とともに、仕上がり 6 頁まで医師は 10,000 円、医師以外は 4,000 円、それ以降 1 頁増える毎に 15,750 円を加算します。筆頭著者が本会会員でない場合は 1 頁目から有料（1 頁 15,750 円）。
- 2) カラー印刷の場合は別に実費（1 枚目 35,000 円、2 枚目からは 1 枚 6,000 円）を申し受けます。

⑬ 別刷：

本誌に掲載された論文の別冊は 10 部、無料進呈いたします。それ以上の別冊を希望される方は 10 部単位でお申込み下さい。実費（25 円×ページ数×部数＋送料）を申し受けます。

8. 講演要旨

学術総会での発表を「原著」「報告」として投稿されない場合にも講演要旨のみを掲載しますが、特に要望がない場合には学会抄録をそのまま掲載します。抄録を改変して掲載されたい場合には、抄録と同様の掲載規程により記述してご送付ください。

原稿送り先

〒567-0047 茨木市美穂ヶ丘 3-6 山本ビル 302 号室
日本眼科紀要会
TEL：072-623-7878 FAX：072-623-6060
E-mail：folia@hcn.zac.ne.jp

第15回日本ロービジョン学会学術総会 プログラム・抄録集

発 行：平成26年9月30日

事務局：獨協医科大学越谷病院眼科

〒343-8555 埼玉県越谷市南越谷2-1-50

TEL/FAX：048-965-8659

E-mail：15th-jslrr@dokkyomed.ac.jp

出 版：(株)セカンド
 学会サポート 株式会社セカンド
<http://www.secand.jp/>

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025